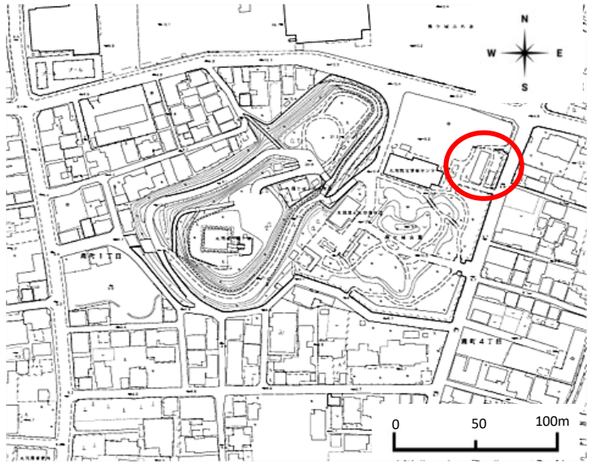
丸岡城跡（搦手口の土橋）発掘調査現地説明会資料

日時　　令和８年９月１９日（土）　10時から
坂井市教育委員会　文化課

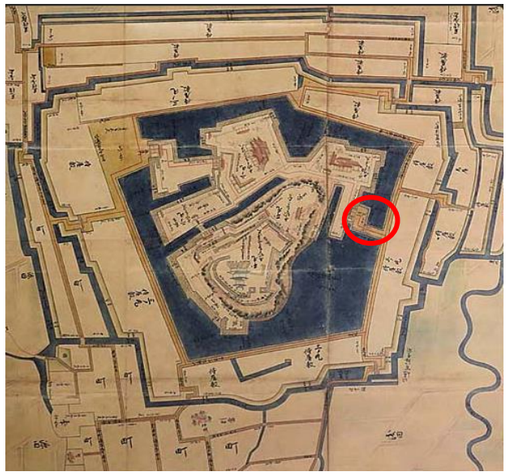
1.　調査目的

今回の発掘調査は、丸岡城跡の保存・整備を考えるため、地下に残る遺構の具体的な内容を調べることを目的としています。

特に今回は、城の裏側の出入口であったと考えられる「搦手口の土橋」跡の残り具合などを確認するために調査しました。



調査位置図
（〇で示した場所が今回の調査地）



「正保城絵図」のうち「越前国丸岡城之絵図」
（国立公文書館蔵）より
（〇で示した場所が今回の調査位置）

2.　丸岡城ならびに搦手口の説明

丸岡城について

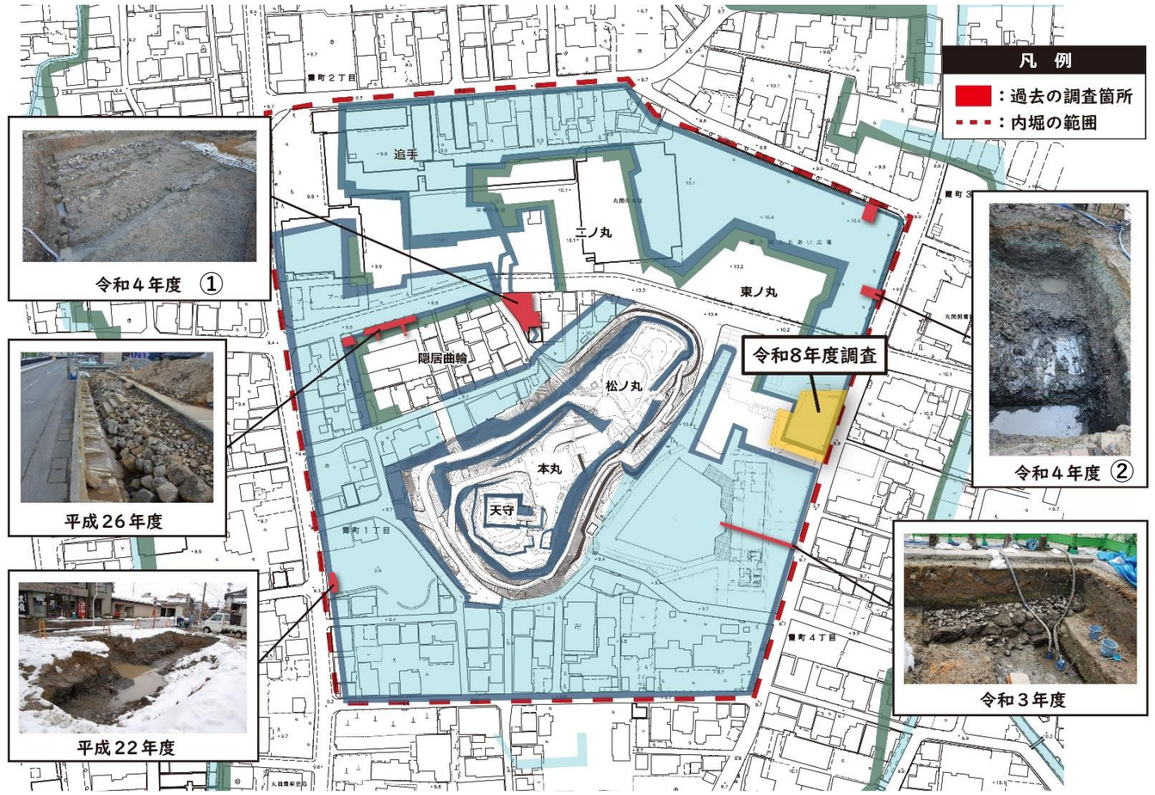
丸岡城は、天正4年（1576）に柴田勝豊によって築かれたとされる城です。城郭としては江戸時代前期に完成し、大きな改変を受けることなく明治をむかえました。

天守は、昭和25年（1950）に国の重要文化財に指定され、福井県を代表する歴史的城郭として多くの人々に親しまれています。

搦手口について

搦手口（からめてぐち）は、城の裏口や副入口にあたる部分です。兵糧や物資を運び込むために利用されたほか、非常時の退路や軍事上の補助的な出入口として重要な役割を果たしていたと考えられます。

丸岡城では、搦手口は天守の東に位置していたと考えられています（上図）。当時の絵図には、二の丸へ渡る橋や敵の侵入から城を防ぐための桝形（ますがた）、そして搦手口の土橋が描かれています。



丸岡城跡発掘調査履歴図

丸岡城跡発掘調査内容

調査年度	調査場所・調査原因	調査成果
平成２２年度	・本丸西側内堀西端 ・消防設備改修に伴う試掘調査	明治時代以後に修理された石垣を検出しました。 検出した石垣の高さは1.2m程度で、当時の堀の水深もさほど深くなかったのではないかと考えられます。
平成２６年度	・二の丸・隠居曲輪石垣 ・建物建設計画に伴う発掘調査	隠居曲輪の石垣を検出しました。 検出した石垣は、明治時代以後に修理されていますが、一部に江戸時代の石垣も残っていたことから、石垣の位置は江戸時代のままであると考えられます。
令和３年度	・内堀東側端 ・観光交流施設建設に伴う発掘調査	内堀の石垣と堀の底面を検出しました。 検出した石垣は２～４段程度残っており、もう少し高かったと考えられます。また石垣は、絵図に描かれている位置とほぼ一致していました。
令和４年度①	・二の丸御殿曲輪と隠居曲輪の間 ・ポケットパーク整備に伴う発掘調査	曲輪の石垣と土塁の痕跡等を検出しました。 検出した曲輪の痕は、絵図に記述されている位置とほぼ合っていることから、絵図の正確性が確認されました。
令和４年度②	・二の丸・内堀北東端 ・遊歩道整備計画に伴う試掘調査	堀跡を検出しました。 内堀の外側石垣は、現在の歩道範囲内に収まる可能性が高いと考えられます。

3. 調査成果





赤枠：調査範囲

調査内容概略図

絵図に〇印部分で示した部分が、今回の調査で検出した土橋部分にあたると思われます。

※石積の形状等はイメージです。



丸岡城天守と土橋の関係（北東から）



第２調査区土橋全景（東から）



第１調査区土橋全景（北から）



第２調査区石積検出状況（北から）



第１調査区石積検出状況（北から）



第２調査区石積掘方検出状況（西から）

【お願い】

- ご報告した内容は現時点のものであり、今後の検討等により変更する場合がございます。
- 調査地内は、深く掘られた部分がありますので、係員の指示に従って行動するようお願いします。
- 見学にあたり、転倒等には十分ご注意いただきますようお願いいたします。